全国都市緑化フェアへの自治体出展（平成22～令和4年度）

札幌市では、昭和58年の第１回開催から、花壇による自治体出展を行っています。
ここでは、平成22年からの過去13回開催分の出展状況についてご紹介します。

第27回全国都市緑化ならフェア　～やまと花ごよみ2010～

ならフェアは、日本でも有数の古墳が集中している地域を包み込むように造成した、「馬見丘陵公園」をメイン会場として開催されました。

札幌市では、この会場内の緩やかな丘に位置する自治体出展会場「フラワーパレット」に、札幌を象徴する建築物である、時計台とさっぽろテレビ塔などをデザインした花壇を出展しました。

フェア開催概要	テーマ	未来へつなぐ「花のもてなし」 ～やまと青垣からの贈りもの～
	会期	平成22年９月18日（土）～11月14日（日）
	会場	メイン会場：馬見丘陵公園（奈良県広陵町・河合町） テーマ会場：平城宮跡、藤原宮跡、国営飛鳥歴史公園 サテライト会場：歴史的街並み、緑化活動の盛んな自治会等がある街中、メイン会場・サテライト会場の主要最寄り駅、都市公園等の施設など
	入場者数	約４３万人
	主催	奈良県、（財）都市緑化基金
出展花壇概要	花壇テーマ	花香る北国のまち・さっぽろ
	コンセプト	札幌の街は、５月の「さっぽろライラックまつり」を皮切りに、冬の真っ白な雪景色に染まるまでの間、北国特有の色鮮やかな花で彩られます。札幌を象徴する時計台とテレビ塔を背景に、街中に広がる花の香りをイメージしてライラックとスズランを表現しました。

↑施工した花壇

↑花壇デザイン

第28回全国都市緑化かごしまフェア　～花かごしま2011～

桜島を背景とする「吉野公園」内の自治体出展会場では、「にっぽん花絵巻」と題し、九州新幹線鹿児島ルートの全線開業にちなみ、車窓からの眺めをイメージさせる、全国の自治体の景色や観光地などを花や緑で表現していました。

札幌市の出展花壇は、南区を中心に活動している、花と緑のボランティア団体「グリーンエプロンズ」代表の狩野亜砂乃さんにデザインしていただきました。

フェア開催概要	テーマ	南からの風にのせて！～よかまち、よか花、よか緑～
	会期	平成23年３月18日（金）～５月22日（日）
	会場	メイン会場：吉野公園（鹿児島県鹿児島市） サブ会場：鹿児島ふれあいスポーツランド まちなか会場：鹿児島市中心市街 協賛会場：県内各地の公園・民間施設等 回遊会場：道の駅、道路、駅・港・空港等
	入場者数	約９６万人
	主催	鹿児島県、鹿児島市、（財）都市緑化基金
出展花壇概要	花壇テーマ	清々しい新緑の季節の札幌
	コンセプト	シラカバ、ライラック、時計台、エゾリスをデザインし、清々しい札幌の新緑の季節を表現しました。

↑施工した花壇

↑花壇デザイン

第29回全国都市緑化フェアTOKYO　～TOKYO GREEN 2012～

６のメイン会場をはじめ、約 400 の協賛会場で、個性豊かな緑のステージが展開されました。

札幌市は、井の頭恩賜公園の自治体出展会場「食の庭」に参加し、出展プレートにより、雨水浸透型花壇や緑のカーテンなどの都市緑化の取組や、ボランティアの方々によるコンテナガーデンづくりの取組などを紹介しました。

フェア開催概要	テーマ	緑の風がふきぬける東京
	会期	平成24年９月29日（土）～10月28日（日）
	会場	メイン会場：上野恩賜公園、井の頭恩賜公園、日比谷公園、浜離宮恩賜公園、海の森、国営昭和記念公園 協賛会場：丸の内会場、サテライト会場（都立公園や都立庭園、港湾エリアにある海上公園、区市町村の公園など約100カ所）、サテライトグリーン（壁面緑化、屋上緑化、公開空地の緑化など、最新の緑化技術を活用して緑の創出に取り組む民間施設など約300カ所）
	入場者数	約516万人
	主催	東京都、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	井の頭恩賜公園の自治体出展会場「食の庭」において、全出展政令指定都市による合同花壇に参加しました。 「食の庭」では、食べられるみどり（エディブルグリーン）による新たな都市緑化の景観を、コンテナや壁面緑化などの緑化技術を活用して提案しました。
	コンセプト	

↑出展プレート

↑「食の庭」の壁面緑化

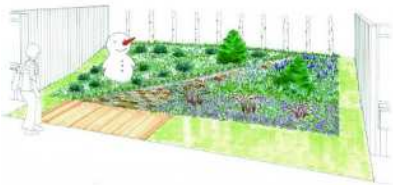
第30回全国都市緑化とっとりフェア　～水と緑のオアシスとっとり2013～

メイン会場である「湖山池公園」は、山陰海岸ジオパークの西端に位置し、日本最大の天然池「湖山池」湖畔に造成された公園です。

札幌市が自治体出展会場「故郷の花模様」に出展するにあたっては、12名のさっぽろタウンガーデナーの方々にご協力いただき、３回のワークショップを経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	ともに育てる身近な緑 ～水と緑につつまれた世界ジオパークのまちから～
	会期	平成25年９月21日（土）～11月10日（日）
	会場	メイン会場：湖山池公園 サテライト会場：東郷湖羽合臨海公園、とっとり花回廊
	入場者数	約２６万人
	主催	鳥取県、鳥取市、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	白い世界の下にある花々の色彩
	コンセプト	植物の配色で、冬(白)と初夏(紫など)を対比させ、季節によって変化する札幌の魅力を表現しました。

↑施工した花壇



↑花壇デザイン

第31回全国都市緑化しずおかフェア　／　浜名湖花博2014　～花と緑の祭典～　※浜名湖花博10周年記

しずおかフェアは、平成16年に開催された浜名湖花博の10周年記念として、「浜名湖花博2014」との同時開催となりました。「浜名湖ガーデンパーク」内の自治体出展会場「花銀河」では、出展した全自治体が煌めく星々をイメージした球状花壇により出展を行いました。

フェア開催概要	テーマ	花と緑のオーケストラ　～水辺で奏でる未来の暮らし～
	会期	はままつフラワーパーク会場： 平成26年３月21日（金）～６月15日（日） 浜名湖ガーデンパーク会場： 平成26年４月５日（土）～６月15日（日）
	会場	はままつフラワーパーク会場 浜名湖ガーデンパーク会場
	入場者数	約１２９万人
	主催	静岡県、浜松市、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	デザインは、全出展自治体で統一感を出すため、主催者で設定した数パターンの球状花壇デザインから選択しました。本市は札幌を象徴する建築物である時計台のオブジェを中心に据えたデザインを選択しました。
	コンセプト	

↑施工した花壇

↑花壇デザイン

第32回全国都市緑化あいちフェア　～花と緑の夢あいち2015～

あいちフェアは、平成17年に開催された愛知万博の跡地に造成された「愛・地球博記念公園」をメイン会場として開催されました。

札幌市が自治体出展会場「花しずく」 に出展するにあたっては、８名のさっぽろタウンガーデナーの方々にご協力いただき、２回の花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	緑のある暮らしの明日を愛知から ～花を愛し、緑のチカラを知る 全国都市緑化 愛・知 フェア～
	会期	平成27年９月12日（土）～11月８日（日）
	会場	メイン会場：愛・地球博記念公園（長久手市） サテライト会場：県内の公園・公共施設等
	入場者数	約３２１万人
	主催	愛知県、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	大倉山から飛び立つ未来
	コンセプト	札幌冬季オリンピックでジャンプ競技が行われた「大倉山」を見所に据え、「大通公園」を中心とした「碁盤の目」の街並みを表現しました。

↑施工した花壇

↑花壇デザイン

第33回全国都市緑化よこはまフェア　～ガーデンネックレス横浜2017～

よこはまフェアは、「歴史と未来の横浜・花と緑の物語」をテーマに掲げ、横浜都心部臨海会場「みなとガーデン」をメイン会場として開催されました。

札幌市が自治体出展会場「日本大通り」に出展するにあたっては、さっぽろタウンガーデナーや札幌市立大学大学院生など5名の方々にご協力いただき、計3回の花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	歴史と未来の横浜・花と緑の物語
	会期	平成29年3月25日（土曜日）～6月4日（日曜日）
	会場	都心部臨海会場（メイン会場）：みなとガーデン 郊外部会場：里山ガーデン
	入場者数	約600万人
	主催	横浜市、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	躍動する大地～彩りの丘とYOSAKOIソーラン
	コンセプト	YOSAKOIの躍動と情熱を、大地のうねりと彩りにかけて表現しました。

↑施工した花壇

↑花壇デザイン

第34回全国都市緑化はちおうじフェア　～みどりの丘の花絵巻はちおうじ2017～

はちおうじフェアは、「自然とまちと人を結ぶ『みどりの環境調和都市』、花とみどりでめぐる「彩り」と「輝き」…見て、学んで、感じよう、はちおうじ…」をテーマに掲げ、「富士森公園」をメイン会場として開催されました。

札幌市は、自治体共同出展である「循環の庭」に参加し、出展プレートにより、都市部へのフラワーコンテナ設置などの都市緑化の取組やボランティアの方々や企業との協働についてPRしました。

フェア開催概要	テーマ	自然とまちと人を結ぶ『みどりの環境調和都市』 花とみどりでめぐる「彩り」と「輝き」…見て、学んで、感じよう、はちおうじ…
	会期	平成29年9月16日（土曜日）～10月15日（日曜日）
	会場	富士森公園
	入場者数	約70万人
	主催	八王子市、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	全国14都市による共同出展花壇に参加しました。 レインガーデンを中心に、ウッドデッキを円環に配置し、雨水の循環をイメージしています。
	コンセプト	

↑共同出展花壇

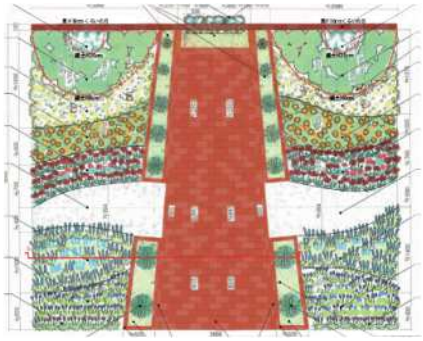
↑出展プレート

第35回全国都市緑化やまぐちフェア　～山口ゆめ花博～

やまぐちフェアは、「やまぐちから開花する、未来への種まき。～150年を振り返り、次の150年につなぐ～」をテーマに掲げ、「山口きらら博記念公園」にて開催されました。

札幌市が自治体出展会場「『庭のパビリオン』ゾーン」に出展するにあたっては、さっぽろタウンガーデナーや北海道大学大学院生など10名の方々にご協力いただき、計3回の花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	やまぐちから開花する、未来への種まき。 ～150年を振り返り、次の150年につなぐ～
	会期	平成30年9月14日（金曜日）～11月4日（日曜日）
	会場	山口きらら博記念公園
	入場者数	約136万人
	主催	山口県、山口市、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	”HOKKAIDO”～札幌通から春をのぞく～
	コンセプト	札幌を代表する風景のひとつである北3条広場から北海道庁旧本庁舎を望む風景と、雪どけとともに花々が一斉に咲く北海道の春のイメージを表現しました。



↑花壇デザイン

↑施工した花壇

第36回全国都市緑化信州フェア ～信州花フェスタ2019～

信州フェアは、「北アルプスの麓から広がる　花と緑に包まれた　しあわせ暮らし」をテーマに掲げ、「長野県松本平広域公園（信州スカイパーク）」をメイン会場として開催されました。

札幌市が花壇を出展するにあたっては、さっぽろタウンガーデナーや北海道大学の学生など計5名の方々にご協力いただき、計2回の花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	北アルプスの麓から広がる　花と緑に包まれた　しあわせ暮らし
	会期	平成31年4月25日（木曜日）～6月16日（日曜日）の53日間
	会場	長野県松本平広域公園（信州スカイパーク）
	入場者数	約70万人
	主催	長野県、松本市、大町市、塩尻市、安曇野市、（公財）都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	大地の彫刻”モエレ沼公園”
	コンセプト	アート作品のような表情もありながら四季の移ろいも感じられる、自然とアートが融合した魅力あるモエレ沼公園を表現しました。

↑花壇デザイン

↑出展プレート

第37回全国都市緑化ひろしまフェア ～ひろしま はなのわ 2020～

ひろしまフェアは、「花笑（はなえみ）」広島からの花と笑顔の平和のわ」をテーマに掲げ、「中央公園」をメイン会場として開催されました。

札幌市が花壇を出展するにあたっては、北海道大学の教員・学生など計５名の方々にご協力いただき、計2回の花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	「花笑(はなえみ)」ひろしまから花と笑顔と平和のわ
	会期	令和２年３月１９日（木曜日）～11月23日（月曜日）の250日間
	会場	広島県 中央公園ほか
	入場者数	約30万人
	主催	広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、公益財団法人都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	さけの帰るまち さっぽろ
	コンセプト	回帰性を持つサケを平和の使者に見立て、平和都市札幌を表現しました。

↑花壇デザイン

↑出展プレート

第38回全国都市緑化くまもとフェア ／くまもと花とみどりの博覧会～THE GREEN VISION 未来への伝言～

くまもとフェアは、「森と水の都くまもとで花と生きる幸せをつむごう」をテーマに掲げ、「まちなかエリア」他をメイン会場として開催されました。

札幌市が花壇を出展するにあたっては、北海道大学の教員・学生など計6名の方々にご協力いただき、計2回の花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	森と水の都くまもとで花と生きる幸せをつむごう
	会期	令和4年3月19日（土曜日）～5月22日（日曜日）の65日間
	会場	街なかエリア（熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯）ほか、水辺エリア、まち山エリア
	入場者数	約168万人
	主催	熊本市、公益財団法人都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	SAPPORO：都市と自然をつなぐ動物たちの足跡
	コンセプト	人口200万人が暮らす都市でありながら豊かな自然が共存するまち～札幌

↑花壇デザイン

↑出展プレート

第39回全国都市緑化北海道フェア ～ガーデンフェスタ北海道2022～

北海道フェアは、「花と緑～恵みの庭を人がつながる北の大地から」をテーマに掲げ、北海道恵庭市はなふる（花の拠点）をメイン会場として開催されました。

札幌市が花壇を出展するにあたっては、北海道大学の教員、学生など計6名の方々にご協力いただき、リモート会議や花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	花と緑～恵みの庭を人がつながる北の大地から
	会期	令和4年6月25日（土曜日）～7月24日（日曜日）の30日間
	会場	北海道恵庭市はなふる（花の拠点）周辺ほか
	入場者数	約34万人
	主催	北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	未来をつむぐ札幌
	コンセプト	人々が壁を越えて、壁のない共生の社会へ

↑花壇デザイン

↑出展プレート

第41回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023～Feel green!～

仙台フェアは、「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」をテーマに掲げ、青葉山公園追廻地区ほかをメイン会場として開催されました。

札幌市が花壇を出展するにあたっては、北海道大学の教員・学生など計5名の方々にご協力いただき、リモート会議や花壇デザイン検討会を経てデザインを完成させました。

フェア開催概要	テーマ	杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く
	会期	令和5年4月26日（水曜日）～6月18日（日曜日）の54日間
	会場	青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区ほか
	入場者数	約115万人
	主催	仙台市、公益財団法人都市緑化機構
出展花壇概要	花壇テーマ	さわやか～エルムの森のキャンパス
	コンセプト	北海道大学の美しいキャンパスが、にぎやかな都心に接して広がり、四季を通して魅力的な景観を見せる様子を表現しました。

↑花壇デザイン

↑出展プレート